

## 出願書類一覧

### 【応募者が作成・準備するもの】

No	出願書類	作成言語・提出者	備考
1	出願書 (所定様式) (別添2)	和文	全員 必ず所定様式を使用しパソコンで記入。顔写真貼付(5cm×4cm、カラー、上半身脱帽、出願時より3か月以内に撮影されたもの)。住所、現職欄は出願時点のもの、連絡先は普段から使用しているものを記入すること。(当課からの連絡やご案内等の宛先となります)
2	申請書 (所定様式) (別添3)	スペイン語文または英語文	全員 必ず所定様式を使用しパソコンで記入。署名欄は <b>※直筆での署名必須</b> 。直筆で署名したものをPDFにして提出すること。顔写真貼付(No.1書類と同様の写真)。記入例を参考に記入すること。
3	志望動機書	和文	全員 パソコンで記入、形式自由、A4用紙各1枚、氏名記載。志望動機について、出願者本人が和文と西(英)文(同一内容)にて記載すること。
		スペイン語文または英語文	
4	研修計画書	和文	全員 パソコンで記入、形式自由、A4用紙各1枚、氏名記載。志望動機について、出願者本人が和文と西(英)文(同一内容)にて記載すること。
		スペイン語文または英語文	
5	推薦書 ※2名分必須	和文	全員 パソコンで記入、形式自由、A4用紙各1枚。出願者の専門分野についての能力、人物等をよく知り、適切に評価し得る人物2名(例:指導教員、上司等、何らかの組織に所属していること)による推薦状。推薦者の <b>※直筆署名(電子署名は不可)</b> 、肩書、氏名、連絡先が入っていること。宛名は関係者各位とする。和文と西(英)文(同一内容)にて記載。推薦者による翻訳が難しい場合は、正確に翻訳が出来る者(出願者を含む)による翻訳でも良い。その場合、別紙に訳(※推薦者の <b>直筆署名入り(電子署名は不可)</b> )を作成の上、対訳元のコピーを別途添える。 <b>直筆で署名をしたものをPDFにして提出すること。</b>
		スペイン語文または英語文	
6	成績証明書 (原本)	和文	全員 所属学校の窓口等で発行された成績証明書。 <b>※電子証明書は基本不可(電子証明書のみの場合は事前に要相談)</b> 。大学院の場合は大学と大学院の両方を提出すること。国内、海外問わず所属学校の公印が入っていること。海外の大学等で和文の発行不可の場合は、正確に翻訳が出来る者(出願者を含む)による訳文(原本のコピーに手書きで必要事項全てに対訳を付す)を提出する。 <b>所属学校の公印が入ったものをPDFにして提出すること。</b>
		スペイン語文または英語文	
7	卒業証明書 (原本)	和文	全員 所属学校の窓口等で発行された卒業証明書または最終学年者は卒業見込み証明書。 <b>※電子証明書は基本不可(電子証明書のみの場合は事前に要相談)</b> 。大学院の場合は大学と大学院の両方を提出すること。国内、海外問わず所属学校の公印が入っていること。海外の大学等で和文の発行不可の場合は、正確に翻訳が出来る者(出願者を含む)による訳文(原本のコピーに手書きで必要事項全てに対訳を付す)を提出する。 <b>所属学校の公印が入ったものをPDFにして提出すること。</b>
		スペイン語文または英語文	
8	語学能力証明書	スペイン語文または英語文	保有者のみ <b>【英語】</b> 書類に英語能力を記載している場合、公的もしくは民間機関が発行した証明書(発行から3年以内の下記証明書を提出)する。下記以外の証明書は提出不要。 ・TOEIC 785点以上 ・TOEFL/ITP 570点以上(印刷版) ・TOEFL IBT 85~95点以上 ・IELTS 6.5以上

				<p>・ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に基づく B2 レベル（中上級）以上の公式証明書</p> <p><b>【スペイン語】</b></p> <p>書類にスペイン語能力を記載している場合、公的もしくは民間機関が発行した証明書（発行年数、レベルは問わない）を提出する。</p> <p>・ DELE、SIELE、西検等</p>
9	パスポート（一般旅券）の写し	—	全員	一般旅券。帰国時までの残存期間があるもの。顔写真見開きページのコピー。
10	戸籍抄本（原本）	和文	全員	西（英）文については、正確に翻訳が出来る者（出願者を含む）による訳文を提出する。訳を作成する際は、原本のコピーに手書きで対訳を付するか、別紙にて作成のどちらでも構わない。別紙作成の場合は対訳元のコピーを別途添える。必要事項は全て翻訳の上、翻訳した者の氏名を記載すること。謄本でも問題ないが謄本の場合でも全て翻訳が必要。
		スペイン語文または英語文		
11	健康診断書（所定様式）（別添5）	日・英（併記）	全員	心身ともに健康であり、留学生活に差し支えないことを証明するもの。所定様式に <u>日本語、英語の両方</u> で医師に記入してもらうこと（海外の場合で日本語での記入が難しい場合に限り、英語のみで記入可）。医療機関発行（3か月以内）の診断書の場合は、英文、和文をそれぞれ同一機関のもので所定様式と同じ項目の検査内容が全て含まれていること。いずれの様式にも検査機関名の記載、医師の署名又は捺印が必要。

### 【推薦団体が作成・準備する資料】

No	出願書類	作成言語	備考
1	団体推薦書（所定様式）（別添6）	和文	推薦者1名につき1枚作成、推薦の理由、優先順位を記載すること。
2	団体募集・選考状況報告書（所定様式）（別添7）	和文	推薦者の人数に関わらず推薦団体で1部作成すること。

### 【書類提出にあたっての注意事項】

- (注) 募集時に、所属先での選考実施及び選考結果の提出が必要。  
(学生は必須、学生以外は可能であれば所属先で選考を実施してもらうこと。)
- (注) 応募書類は、応募者本人ではなく、推薦団体が広島県に提出すること。
- (注) 期日を過ぎた書類はいかなる理由でも受理しない。
- (注) 書類に不備があった場合、原則受理しない。
- (注) 書類は返却しない。
- (注) 書類を提出したことで、個人情報保護条項に同意したとみなす。